

緊急消防援助隊情報

令和2年度緊急消防援助隊近畿ブロック 合同訓練の実施結果について

広域応援室・徳島県実行委員会

令和2年度緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練は、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた訓練内容の変更に伴い、県災害対策本部と関係機関をリモートで結んだ広域的な図上訓練及び小規模な実動訓練を実施しました。

実施に当たっては、徳島県で起こりうる災害を想定した実践的な訓練にするとともに、コロナ禍における「災害対応力の強化」を図るため、具体的な感染症対策を盛り込み、広域応援体制を検証しました。

1. 実施日

令和2年11月8日（日）9時00分から12時10分まで

2. 実施場所

(1) 図上訓練

徳島県庁

消防応援活動調整本部等設置運営訓練

(2) 実動訓練

①阿南市橋湾木材ターミナル

急傾斜地崩壊、津波漂流者救助訓練

②南阿波ピクニック公園

孤立地域進出訓練

③阿南地区石油コンビナート等特別防災区域

石油コンビナート火災消火訓練 ほか

3. 実施内容

(1) 訓練想定

令和2年11月8日（日）8時30分、四国沖を震源とする大規模地震が発生し、徳島県内では、最大震度6強を観測した。

この地震により、海陽町を中心とする徳島県南部地域では、建物倒壊、津波、土砂災害等による甚大な被害が発生したほか、阿南地区石油コンビナート等特別防災区域で大規模な石油タンク火災が発生した。

(2) 消防応援活動調整本部等設置運営訓練

多くの関係者が参集する消防応援活動調整本部での活動において、パーティションの活用や衛生・健康管理など感染防止対策に配慮し、緊急消防援助隊の応援要請等に係る情報伝達、受援調整及び部隊の活動調整等について、ロールプレイング方式により実施した。

また、Web会議システムで、県災害対策本部と消防庁や近畿府県等を結び災害時の情報連絡体制について検証した。

《今後の課題等》

- 職員が被災情報の処理に追われ、災害の全体像の把握や職員間の情報共有が十分にできなかった。
- 新型コロナウイルス感染症対策としてマスクやフェイスシールド等の使用を徹底したが、会話が聞き取りにくくなってしまった。

また、机上のアルコール消毒液の使用や換気等、訓練中の感染症対策も十分できていなかった。



消防応援活動調整本部等設置運営訓練 徳島県庁

(3) 参集訓練

実災害を想定したタイムラインにより、関係機関が参集し、初動期の被害情報収集や災害対応体制の強化に努めた。また、京都市消防局の統括指揮支援隊が消防防災ヘリで参集し、被災県消防関係者に対する効果的な指揮支援活動を実施した。

《今後の課題等》

- 民間ヘリポートを活用し、発災時の迅速な参集体制、関係者との連携を確認できた。今後は悪天候等でヘリの運航ができない場合も想定した訓練等により、受援体制の強化が必要である。

(4) 部隊運用訓練

地震による土砂災害及び津波による漂流者を想定した急傾斜地崩壊救助訓練等実動訓練をブラインド型で実施した。

新型コロナウイルス感染症対策として、機関ごとに活動ブースを割り当て、休憩時も各小隊間の距離を保



つよう調整し、体温測定により隊員の体調管理を徹底した。

また、中型水陸両用車、高機能救命ボート等の消防庁無償使用車両を活用するとともに、V S A T（可搬型衛星地球局）で記録した訓練映像を県災害対策本部及び県内消防本部へ送信し、被災地の情報収集体制の確保について検証した。

《今後の課題等》

- 災害現場に設置した現地合同調整所で、十分な情報共有を図り、関係機関が連携し、効果的な訓練を実施できた。
- 救助活動時のフェイスシールドの装着は困難であり、マスクを装着した活動は平時と比べ、隊員の負担が増加した。

(5) 後方支援活動訓練

県後方支援活動要領を踏まえ、宿営時のテントや食事スペースで、「3密」を避けるため、隊員の動線やレイアウトを工夫した。また、活動時のソーシャルディスタンスの確保、検温場所の設置等、隊員の感染予防の手法を確認、検証した。

《今後の課題等》

- 感染拡大防止のため、個人スペースの確保や感染防止対策の強化が求められるとともに、応受援計画及び後方支援活動要領等における後方支援体制の見直しが必要である。



後方支援活動訓練 手指消毒スペースの様子

(6) その他

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に配慮し、近畿2府6県並びに県内消防機関がリモートで参加する、災害対策本部会議運営訓練及びWeb閉会式を実施した。



災害対策本部会議及びWeb閉会式 徳島県庁

4. おわりに

今回の訓練は、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた訓練方針に基づき、大規模な移動を伴う実動訓練に替え、Web会議システムを活用した広域的な図上訓練と県内部隊を中心とする規模を縮小した実動訓練を実施しました。

訓練では、消防応援活動調整本部、統合機動部隊の訓練場所への直接参集等、実践的な訓練となるよう計画しました。

徳島県における緊急消防援助隊の受援体制や部隊運用、関係機関と連携した情報共有など、大規模災害時の課題等が明らかとなり、今後のアフターコロナ時代に求められる災害対応を検証する上で、大変有意義な訓練になりました。

今回の訓練で得られた成果等を踏まえ、緊急消防援助隊の応受援体制の更なる充実強化に努めて参ります。

最後に、本訓練開催に際しまして、多大な御協力を賜りました近畿ブロック各府県、参加各消防機関及び関係機関の皆様へ心より感謝申し上げます。

問合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課 広域応援室
TEL: 03-5253-7527 (直通)